学校番号	3001

令和２年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と環境（新訂版）」（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習では、野菜を栽培することにより、土作り、播種、鉢上げ、定植、かん水など栽培管理についての基礎的な知識や技術を学びます。
座学では、農業や環境に関する知識を広く学びます。

２　学習の到達目標

・野菜栽培を通して、植物を育てる基本的な知識・技術を身につける。
・日本の農業と環境について、広く知識を身につけ、それぞれが抱える問題について理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業と環境の各分野について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	農業と環境に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	農業と環境の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業と環境の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 自己評価等	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	果実を利用する野菜の栽培 農業と環境について	栽培管理の知識と技術 農業と環境についての知識	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等
2学期	葉や根を利用する野菜の栽培 農業と環境について	栽培管理の知識と技術 農業と環境についての知識	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等
3学期	次年度の栽培に向けて 農業と環境について	栽培管理の知識と技術 農業と環境についての知識	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノート、レポートの記述 定期考査の結果 自己評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。